

令和4年度第3回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

令和5年2月14日（火）13:30～15:30

糸魚川市役所 2階 201・202 会議室

【出席委員】

井川賢一会長、吉田学委員、白石雅孝委員、塚田二郎委員、猪又直登委員、渡辺郁子委員、小谷野黎委員代理、丸山延弥委員、荻原一浩委員代理、二川哲委員代理、島谷尚之委員、清水孝人委員、池上和弥委員、大貫清志委員、恩田浩幸委員、伊藤こずえ委員、吉田和則委員、磯野良策委員、斉木房子委員、齊藤勝巳委員、長沼潔委員、杉野尚委員、山本宏樹委員、北村雄一委員、渡辺一彦委員 以上 25 人

【会議の概要】

1 開会

- ・都市政策課課長補佐の進行で13:30開会

2 会長挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶

<会議成立報告>

- ・委員出席状況は、総数28人中25人が出席となり、協議会規約第9条第2項に規定する過半数に達していることから、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

3 報告

- ・議事進行は都市政策課課長補佐

- (1) 糸魚川市地域公共交通協議会 委員の交代について
質問・意見なし。

4 議事

- ・議事進行は会長（糸魚川市副市長）

議案第1号 令和5年春 路線バスダイヤの一部改正

会長：基準値を下回った路線についてのスタンスだが、廃止となるのか、それとも利用促進を行い存続の可能性を探っていくのか。もう一度説明していただきたい。

事務局：基準値を下回ったタイミングをきっかけとし、地域のみなさまと現状を共有し改善できる点など意見を吸い上げて見直しを進めたい。すぐに路線の廃止となるわけではない。地域にとって必要な路線となるよう見直しを進める。

委員：西海線の数値が良い理由は何かあるのか。

事務局：西海地区の生徒は、以前はスクールバスで糸魚川中学校へ通学していたものを路線バス利用に移行したため。

(決議) 原案のとおり承認

5 その他

- ・議事進行は都市政策課課長補佐

○交通事業者の近況報告

委員（バス事業者）：今年は雪の影響も小さく、運休もなく運行できている。

新型コロナウイルスについては、社内の感染もなく済んでいる。コロナによる運休も幸いにもなかった。

燃料高騰も影響が大きく、経費増大となっている。

運転手が減少している。

委員（バス事業者）：高速バスでは令和2年度で60%減少。令和4年度は33%減少まで回復。今後利用が回復することを期待している。

燃料高騰も影響が大きい。新潟県、糸魚川市からも支援をいただいているが、厳しい状況が続くそう。

運転手不足も課題で、昨年暮れから上越市内の一部路線を運休対応している。

コロナ前のような利用状況に戻るのか心配している。

委員（コミバス事業者）：交通は町を作る意味も持っている。そのためにもお客様の足となるよう頑張っていきたい。

委員（タクシー事業者）：利用状況は、日中は高齢者の通院や買い物、ビジネスユーザーが中心。夜間は懇親会など。

コロナでリモートワークや飲み会の自粛などがあり、一番減少した時期で60%くらいになった。現在は少し回復している。

人材確保は苦勞している。女性ドライバーが7名いる。

コロナを契機に新しい形態に変えていきたいと思っている。

委員（福祉有償事業者）：ぐりーんバスケットは事業開始してから15年となるが、運転手がいらないという危機的状況にある。

会長：事業者の皆様のおかげで公共交通が成り立っている。担い手確保や燃料高騰など課題も良く分かった。観光や福祉部門とも連携をとってより良い公共交通を考えていきたい。

○公共交通に関連する取組

- ・大糸線の状況について
- ・一括定額運賃タクシー実証実験の中間報告
- ・県内高速バス新潟・糸魚川線について

○その他委員からの発言

委員：内閣の閣議決定で活性化再生法の改正があった。ローカル鉄道の協議会など地域課題の解決にむけて参考にしてほしい。

委員：県の予算は今後発表されるのでご確認を。

委員：本当に事業者の皆様のご苦勞を認識した。

高齢者になると 250m くらいが徒歩圏内。駅から買い物できるところが 250m くらいの範囲でないとむずかしい。その辺も踏まえたまちづくりが必要だと年を取ってから分かった。

お年寄りにはバスの乗り方、使い方が難しく不安との声を聞く。そのあたりを PR したらどうかと思う。

委員：バスの乗り方等を教えるバス教室を行っている。

6 閉会

- ・内山都市政策課課長補佐の挨拶で 15:30 閉会

■協議会の様子

